年間第8週・木曜日 67. バルティマイの信 仰

年間第8週・木曜日

67. バルティマイの信仰

- 一 バルティマイの祈りは、あらゆる 障害を克服する。自分の生活の中で お通りになるキリストにもっと近づ こうと望む人たちの障害。
- 一 主に従うための信仰と離脱。私たちの祈りも、匿名ではなく個人として、バルティマイのように直接、主に話しかけるものであるべき。
- 一道が暗闇に覆われているようなと きもキリストに従う。

67.1 バルティマイの祈りはすべての 障害を克服します。キリストが通り

過ぎる時、その傍に近づこうとする 人の困難

聖マルコは、今日のミサの福音1 で、エルサレムに行く途中、エリコ を去ろうとした時、イエスは道端に 座っていた盲目の物乞い、バルティ マイ(ティマイの息子)の傍を通っ たと教えています。バルティマイは 「暗闇に住む者、絶えず続く夜の内 に住む者です。彼は他の病気の人々 のように、治してもらうためにイエ スの所に行くことができません。彼 は、盲人に視力を回復するナザレか ら来た預言者がいるという話を聞い ていました | ²。 私たちもまた、聖 アウグスチヌスが評したように、 「自分の心を見えなくします。そし て、イエスは、私たちが主に叫ぶこ とができるように通り過ぎられま す」³。

「群衆のざわめきを聞いた時、盲目 の男は、その騒ぎが何であるのか尋 バルティマイは名前を聞いて、心は 信仰に満ちました。イエスはすぐない くにおられます。生涯にまたとは精 くに機会でした。それで、彼は精「ダ 大きな声で叫び始めました。「 がずの内で、信仰は祈りになり ました。「それは、イエスがすぐり ました。「それは、イエスがすぐり ました。になっているのではないと感じるあなたにも起こりません か? 心からの望みに促され、あなたの鼓動は激しくなって遂に大声を上げます」 5 。

暗闇でイエスを探し求めている男に すぐに困難が生じます。通り過ぎて いく多くの人々は、静かにするよう にと、彼を叱りました。聖アウグス チヌスは、福音のこの出来事を評し て、誰かが神に叫び、従う決心をす る時、よく、他の人々が必死に止め させようとすると指摘しています。 「神に叫び従おうとすると、親戚、 近所の人々、友だちは不平を言い始 めます。秘密を大切にする人々が私 に立ち向かいます。気は確かです か? そんなに大声で叫ばないよう に。他の人々はキリスト者ではない のですか? これはばかげたことで す。狂気の沙汰です! 私たち、盲目 の者が叫ばないように、彼らはこの ようなことを、大声をたてて叫び立 てるのです」⁶。 「しかも、友人、 習慣、安楽、環境などすべてが共謀

して、あなたにこう命じるのです。 『黙れ。大声を張り上げるな』、 『なぜイエスを煩わせるのか。呼ぶ 必要などないではないか』と | ⁷。

バルティマイはそれを無視します。 イエスは彼の大きな希望であり、再 び主と出会うかどうかわかりませ ん。静かにするかわりにもっと大き な声で叫びます。「ダビデの子、ど うかわたしにご慈悲を |。「群衆の 非難に気をとられ、傍を通り過ぎて 行かれるイエスの足もとに歩み寄ら ない理由があなたにあるでしょう か?彼らはあなたを侮辱し、非難す るでしょう。押し戻すでしょう。し かし、あなたはイエスがあなたの叫 びを聞くまで叫び続けます。もし人 が、群衆の意見に心を留めず、表面 的にキリストに従う者にあまり気を とらわれず、黙らせようとする人々 の騒ぎよりも、神が命じられること に忠実であるなら、イエスは立ち止

まられその人を癒されるでしょう」 ⁸ _。

確かに、「私たちが忍耐強く祈りり 動意をもって堅忍する時、『通りの男の子」を引きます。。 言目の男の折りは聞きかられるの男のが困難にもわらず、 の上た。外的にももいり見いないできれる。 がためにもないできないががあることができないができないができないができないがあれた。 がためれるできないまにはいいたがある。 ではいいにしたままではいいにいた。 がたいいにいた。 がたいいにいたままでもれた。 がたいら。

「あなたも同じように叫びたい気持ちに駆り立てられませんか? 道の傍で、とても短い一生のハイウェイの脇で、待っていますか? もっと光を必要とし、聖性を求める決心をするためにもっと恩恵を必要としていますか? 『ダビデの子、どうかわたしにご慈悲を!』と叫ぶ緊急な必要を

感じませんか? あなたが何度も繰り 返す願望は何と美しいでしょう!」

67.2 イエスに従うための信仰と離脱。私たちの祈りはバルティマイの祈りのように、見知らぬ者ではなく、個人的で直接でなければならない

「イエスは立ち止まって、『あの男 を呼んで来なさい』と言われた。そ

して、近くにいた何人かの善良な 人々が盲人に伝えます。『安心しな さい。立ちなさい。お呼びだ』。こ れがキリスト教の召し出しではない でしょうか。ただし、召し出しと は、神が一度だけお呼びになること ではありません。神は常に呼びかけ ておいでになります。立ちなさい、 怠惰を捨てなさい、つまらない利己 主義や安楽、さほど大切とは言えぬ あなたの心配ごとなど忘れてしまい なさい。不恰好に地に這いつくばっ た、役立たずな状態から早く抜け出 しなさい。高さと重さと量、それに 超自然の見方を取り戻しなさい、 کے

その男はすぐに、上着を脱ぎ捨て、 踊り上がってイエスのところに来 た。上着を脱ぎ捨てて! 戦場に足を 踏み入れたことがあるでしょうか。 もうずいぶん昔のことですが、戦い が終わったばかりの戦場に立ったこ とがあります。そこには毛布や水 筒、それに愛する人たちの手紙や写真の詰った背のうが散乱していまれらはいずれも敗残兵の持ちではなく、勝利を得た兵士たちないでした。突撃に入り、敵陣をとき、邪魔になるので、ママとき従ったあのバルティを投ったあいまうに、兵士たちはすべてを投って敵に立ち向かっていったのす」12。

今、バルティマイはイエスの前に 立っています。人々は何が起きるか 見るためにまわりに集まって来まし た。主はバルティマイに言われまし た。わたしにどうしてほしいのか? 視力を取り戻すことができる主は、 盲目の男が何を望んでいるのか本当 に知らなかったのでしょうか? イエ スは、私たちがご自分に願うことを 待っておられるのです。主は私たち が願う前に、私たちが必要なことを 知っておられます。そして主はそれ を救済したいと望んでおられます。

「盲目の男はすぐ答えました。『主 よ、見えますように』。彼はお金で はなく視力を主に願いました。見え るようになるためには他の何も必要 なかったのです。盲目の男は、多く の物を得ることができても、視力が なければ得た物を見ることができな いからです。というわけで、私たち がたった今聞いたことを真似ましょ う」13。彼の素晴らしい信仰、忍耐 強い祈り、キリストの所に行こうと する彼の邪魔をする周囲の者たちに 負けない剛毅を真似ましょう。「イ エスが通り過ぎていくのを聞き、自 分が盲目であることに気づき、聖書 の道端に座り、祈りの力でイエスを 傍に引きとめることができるかも知 れません」 14。 バルティマイのよう に、知らぬ者ではなく個人的で直接 的な祈りであるべきでしょう。私た ちはイエスの名を呼び、直接、率直 に彼と話をします。

67.3 途中で、暗闇の時に、キリストに従うこと。信仰の公の宣言

バルティマイの話は私たち自身の話です。私たちもまた、多くの事柄において盲目ですから。イエスは私たちの傍を通り過ぎられます。多分、私たちが道路わきの溝を後にして、イエスに伴う時が来たのでしょう。

バルティマイの「主よ、見えますよ うに」という言葉は、頻繁に繰り返 すことのできる単純な射祷として、 私たちの役に立ちます。これは、使 徒職で光を必要としている時、解決 できない問題において特にそうです が、とりわけ、信仰と召命に関する ことで役に立ちます。「暗闇に包ま れ、目が見えず、心の落ち着きを 失ったなら、バルティマイのように 〈光〉のもとへと駆け寄らなければ ならない。『主よ、見えますよう に』と、もっと力を込めて繰り返し 叫びなさい。昼が訪れ、主がお与え

になる光を味わうようになるだろ う」¹⁵。私たちの熱意が、キリスト に従った最初の頃に比べて消えはじ めたり、祈りが無味乾燥さを増した り、信仰が弱まったと思われる時、 そんな憂鬱な時こそ、実に最も祈り を必要とする時なのです。小さな苦 行をする理由がはっきり理解でき ず、使徒職における努力が無駄に思 われる時、その時こそ祈りは私たち の最も素晴らしい味方なのです。神 との会話を短縮したり放棄したりす るかわりに、もっと努力をして私た ちの忠実さ、誠実さを証しし、神を 喜ばせるための私たちの努力を倍加 するまさにその好機です。

イエスは盲人に言います。「行きなさい。あなたの信仰があなたを救った」。するとただちにその人は見えるようになりました。バルティマイがこの世で最初に見たものはキリストのみ顔です。そのみ顔を忘れるこ

とはないでしょう。そして彼はキリストに従ったのです。

私たちがバルティマイについて知っているのはこれだけです。彼るとこれだけです。彼るとこれだいかによりによった。聖ルカによるによりによったがでしまい、それを賛美しまって神を賛美しまった。「16」の大きになりました。では多くの人々に信仰をもなりました。

私たちもまた、エリコの盲目の男が 受けたのと同じか、もっと多くの恩 恵を受けました。また、主は、私た ちの生活と行いが、今日の世の中に おいて多くの人々がイエスを見出す のに役立つことを望んでおられま す。

彼は、神を賛美しながらイエスに従いました。これは私たちがバルティマイの生き生きした行いに表れる信

仰を持つなら、私たち自身の生涯も このようになるでしょう。

私たちはアドロ・テ・デヴォテの聖 歌の言葉で祈りを終えます。

今隠れていますイエス、渇き望むも のを与えてください。

覆いを取られた、あなたの顔を見出 し、あなたの栄光を見る幸いな者と なりますように。

アーメン。

¹マルコ10:46-52

² A.G.Dorronsoro, Time to Believe, Rialp, Madrid 1 9 7 2

³ 聖アウグスチヌス, Sermon 8 8,9

- ⁴ A.G.Dorronsoro, loc cit
- ⁵ 聖ホセマリア・エスクリバー, 『神の朋友』. 195
- ⁶聖アウグスチヌス, Sermon 8 8, 9
- $\frac{7}{2}$ 聖ホセマリア・エスクリバー, 『神の朋友』,195
- ⁸ 聖アウグスチヌス, loc cit
- ⁹ St Gregory the Great, Homilies on the Gospel, 2, 5
- ¹⁰ 聖ホセマリア・エスクリバー, 『神の朋友』 1 9 5
- 『作のが及』199
- 11 聖ホセマリア・エスクリバー, 『神の朋友』 1 9 5
- ¹² 聖ホセマリア・エスクリバー, 『神の朋友』 1 9 6

 $\frac{1}{3}$ St Gregory the Great, Homilies on the Gospel, 2, 7

Origen, Commentary on St Matthew's Gospel, 1 2 : 2 0

¹⁵ 聖ホセマリア・エスクリバー, 『拓』, 862

16 ルカ18:43参照

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/TO-VIII-moku/ (2025/11/28)